



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社ヨシックスホールディングス 上場取引所 東・名
 コード番号 3221 URL <https://yossix.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役会長CEO（氏名） 吉岡 昌成
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 経営企画室室長（氏名） 松岡 龍司（TEL）052(932)8431
 半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年11月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	11,252	9.6	1,261	16.5	1,406	15.3	931	15.7
2024年3月期中間期	10,264	32.3	1,082	—	1,220	9.0	804	5.6

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 931百万円(15.6%) 2024年3月期中間期 805百万円(5.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	91.31	—
2024年3月期中間期	77.84	77.79

(注) 2025年3月期中間期潜在株式調整後1株当たり中間純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	14,091	10,776	76.5	1,054.13
2024年3月期	14,572	9,902	68.0	971.87

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 10,776百万円 2024年3月期 9,902百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
2025年3月期	—	14.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,433	6.2	2,386	2.7	2,617	3.1	1,701	△6.0	167.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) ワンダーフードイノベーション株式会社、除外 1社(社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	10,361,000株	2024年3月期	10,361,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	138,277株	2024年3月期	172,286株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	10,201,339株	2024年3月期中間期	10,340,678株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「当中間決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、賃上げ率の上昇による所得環境の改善や、訪日外国人の増加によるインバウンド需要の回復が見られ、社会経済活動が活発化いたしました。その一方で、長期化するロシアのウクライナ侵攻による燃料価格高騰、円安による物価の上昇があり、依然として先行きの不安定な状況が続いております。外食業界におきましても同様で、国内消費が徐々に回復しつつありましたが、燃料価格高騰や物価高による食材価格の上昇、人手不足の影響を受けており、厳しい状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、「や台ずし」を中心に新規出店及び業態転換を実施いたしました。新エリアの開拓としましては、福島県1号店として2024年9月にや台ずし福島駅東口町を出店いたしました。また、宮崎県の2号店として2024年9月にや台ずし橋通町を出店し、前期に開拓したエリアの拡大を進めました。

飲食事業の主力業態である「や台ずし」業態は新規出店15店舗を実施し、店舗数が338店舗(フランチャイズ含む)、総店舗数の93.4%を占め、当業態の売上高は10,381百万円となりました。また、均一低価格居酒屋である「ニパチ」業態は、店舗数が13店舗、総店舗数の3.6%を占め、当業態の売上高は252百万円となりました。

以上の結果、店舗数につきましては、新規出店16店舗、退店2店舗(フランチャイズ含む)を実施し、当中間連結会計期間末の店舗数は362店舗(フランチャイズ含む)となりました。その上で、当中間連結会計期間における売上高は11,252百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益は1,261百万円(前年同期比16.5%増)、経常利益は1,406百万円(前年同期比15.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は931百万円(前年同期比15.7%増)となりました。

一方、建装事業につきましてはグループ会社の強みとして最大限活用し、店舗展開する際のイニシャルコストの徹底的な抑制、投資回収の早期実現等の達成に大きく寄与しました。

また、2023年8月4日に株式会社M&Dが運営する飲食事業に関する資産、負債、契約その他の権利義務を、当社が100%子会社として新設するワンダーフードイノベーション株式会社に会社分割(吸収分割)の方法で承継しました。これによる、当社の2024年3月期の連結財務諸表に与える影響が軽微であるため、連結の範囲に含めていませんでした。しかし、新規出店の予定があるなど、今後は重要性が増すことを踏まえ、当中間連結会計期間の期首より連結の範囲に含めております。

なお、当社はセグメント情報の記載を省略しているため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産負債の増減

当中間連結会計期間末における総資産は14,091百万円、負債は3,315百万円、純資産は10,776百万円であり、自己資本比率は76.5%となりました。

(流動資産)

流動資産につきましては前連結会計年度末に比べ685百万円減少し、10,208百万円となりました。これは主に現金及び預金が724百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産につきましては前連結会計年度末に比べ205百万円増加し、3,883百万円となりました。これは主に建物及び構築物が205百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債につきましては前連結会計年度末に比べ1,378百万円減少し、2,560百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が630百万円、その他が579百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債につきましては前連結会計年度末に比べ24百万円増加し、755百万円となりました。これは主に役員退職慰労引当金が12百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては前連結会計年度末に比べ873百万円増加し、10,776百万円となりました。これは主に利益剰余金が775百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べて544百万円減少し、7,172百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は、220百万円(前年同期は2,202百万円の獲得)となりました。これは主に、仕入債務の減少額608百万円、法人税等の支払額625百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、180百万円(前年同期は825百万円の使用)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出325百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は、153百万円(前年同期は183百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額142百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績は、概ね計画通りに堅調に推移いたしましたので、2024年5月10日に公表いたしました通期業績予想につきまして、現時点での変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,897,144	9,172,823
売掛金	492,885	440,388
原材料及び貯蔵品	187,548	204,647
その他	316,308	390,509
流動資産合計	10,893,887	10,208,369
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,968,127	2,174,071
その他	685,456	695,236
有形固定資産合計	2,653,584	2,869,308
無形固定資産	3,470	18,193
投資その他の資産	1,021,144	995,827
固定資産合計	3,678,199	3,883,330
資産合計	14,572,086	14,091,699
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,258,434	628,085
1年内返済予定の長期借入金	10,448	-
未払法人税等	633,838	474,864
その他	2,036,161	1,457,092
流動負債合計	3,938,882	2,560,041
固定負債		
役員退職慰労引当金	542,710	555,430
その他	188,380	200,126
固定負債合計	731,090	755,556
負債合計	4,669,973	3,315,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	361,315	361,315
資本剰余金	389,420	389,761
利益剰余金	9,649,596	10,424,860
自己株式	△500,985	△402,130
株主資本合計	9,899,346	10,773,806
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,767	2,294
その他の包括利益累計額合計	2,767	2,294
純資産合計	9,902,113	10,776,101
負債純資産合計	14,572,086	14,091,699

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	10,264,335	11,252,238
売上原価	3,422,903	3,703,302
売上総利益	6,841,432	7,548,936
販売費及び一般管理費	5,758,477	6,287,170
営業利益	1,082,954	1,261,765
営業外収益		
協賛金収入	126,848	124,374
その他	11,314	20,806
営業外収益合計	138,162	145,181
営業外費用		
支払利息	5	-
現金過不足	880	480
その他	15	-
営業外費用合計	901	480
経常利益	1,220,215	1,406,466
特別利益		
固定資産売却益	2,319	2,729
受取補償金	32,783	-
特別利益合計	35,102	2,729
特別損失		
固定資産除却損	0	3,825
減損損失	-	1,293
特別損失合計	0	5,118
税金等調整前中間純利益	1,255,318	1,404,076
法人税、住民税及び事業税	481,830	462,619
法人税等調整額	△31,433	9,964
法人税等合計	450,396	472,584
中間純利益	804,922	931,492
親会社株主に帰属する中間純利益	804,922	931,492

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	804,922	931,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	526	△472
その他の包括利益合計	526	△472
中間包括利益	805,448	931,020
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	805,448	931,020

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,255,318	1,404,076
減価償却費	162,060	195,653
減損損失	-	1,293
受取利息及び受取配当金	△1,363	△2,073
支払利息	5	-
固定資産売却益	△2,319	△2,729
固定資産除却損	0	3,825
受取補償金	△32,783	-
売上債権の増減額(△は増加)	86,602	26,604
棚卸資産の増減額(△は増加)	△47,510	10,700
仕入債務の増減額(△は減少)	506,360	△608,198
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	13,126	12,720
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,053	△427,122
その他	286,090	△241,451
小計	2,242,641	373,298
利息及び配当金の受取額	1,363	2,073
利息の支払額	△5	-
法人税等の支払額	△129,462	△625,509
法人税等の還付額	55,621	30,067
補償金の受取額	32,783	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,202,941	△220,069
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△360,000	180,000
固定資産の取得による支出	△400,985	△325,921
固定資産の売却による収入	2,319	3,130
差入保証金の差入による支出	△18,992	△40,318
差入保証金の回収による収入	7,628	7,990
貸付けによる支出	△44,000	-
その他	△11,466	△5,159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△825,496	△180,278
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△62,496	△10,448
株式の発行による収入	3,382	-
自己株式の取得による支出	△106	△273
配当金の支払額	△123,799	△142,512
財務活動によるキャッシュ・フロー	△183,020	△153,233
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,194,424	△553,581
現金及び現金同等物の期首残高	6,144,649	7,717,144
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	9,261
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,339,074	7,172,823

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月25日開催の取締役会決議により、2024年7月25日付で取締役及び執行役員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行い、当中間連結会計期間において、資本剰余金341千円増加、自己株式が99,128千円減少しております。主にこの影響により、当中間連結会計期間末において、資本剰余金が389,761千円、自己株式が402,130千円となっております。